

SDS 定量キット

【目的・用途】

SDS を定量するキットです。

メチレンブルーは陰イオン性界面活性剤と反応して錯体をつくります。錯体はクロロホルムに抽出され、陰イオン性界面活性剤の量に応じた青色を呈します。

クロロホルム層の吸光値を測定することで陰イオン性界面活性剤の定量を行います。本キットには0.01%-0.2%のSDS溶液を定量できる試薬が約160サンプル分含まれます。

【特徴】

- 1) 0.01%-0.2%のSDS溶液を定量可能
- 2) 少量サンプル (5 μ L) で測定可能

【キット内容・保存方法】

内容	容量	保存方法	使用期限
メチレンブルー溶液(10 \times)	50 mL	室温	1年 (未開封)
希釈バッファー	500mL		
スタンダード SDS 溶液 (0.01%,0.05%,0.1%,0.15%,0.2%)	各 200 μ L		

【本品以外に準備するもの】

- ・ クロロホルム
- ・ 脱イオン水 (ブランク用)
- ・ 15mL チューブ
- ・ 石英セル (クロロホルムに耐性のあるセル)
- ・ 650nm の吸光を測定可能な吸光度計

【方法】

- 1) 1 \times メチレンブルー溶液を調製します。
メチレンブルー溶液(10 \times)を希釈バッファーで10倍希釈します。
測定に使用する液量は3mL/サンプルです。スタンダード、ブランク、サンプルの本数分を調製してください。
- 2) 15mL チューブに1)で調製した、1 \times メチレンブルー溶液を3mLずつ加えます。
- 3) 測定サンプルまたは脱イオン水(ブランク用)またはスタンダード SDS 溶液を2)に5 μ L加えます。
- 4) 2mLのクロロホルム溶液を加え、15mL チューブのキャップを閉め、10回転倒混和します。
- 5) 室温・5分間静置します。
- 6) クロロホルム層(下層)の吸光度 (650nm) を測定します。
※石英セルなど、クロロホルムに耐性のあるセルをご使用ください。

【Q&A】

- Q1. SDS 以外の陰イオン性界面活性剤は定量できますか？
- A1. 原理的には可能ですが、測定範囲が SDS とは異なります。お客様の系でご検討ください。
また、SDS 以外に陰イオン性界面活性剤が含まれている場合、測定に影響する場合があります。
- Q2. 陽イオン性界面活性剤、両性界面活性剤は定量できますか？
- A2. 定量できません。
- Q3. 0.01%より低濃度の SDS 溶液は定量できますか？
- A3. サンプル量を増やすことで定量可能です。詳しくはお問い合わせください。



株式会社ファーマフーズ アプロサイエンスグループ
〒770-0865 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階
■Tel: 088-678-6372 ■Mail: bio@apro-s.com
■Url: <https://apro-s.com/>
本社 〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原1-49